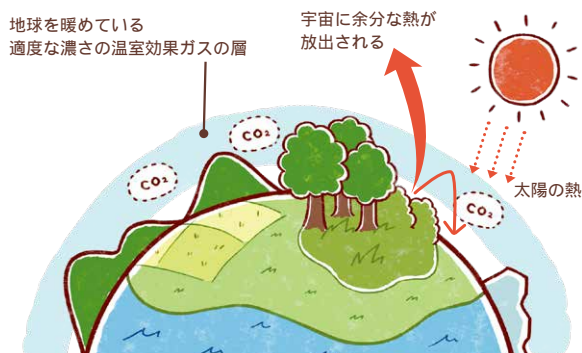


# 見直そう私の暮らし

「数十年に一度」と言われる災害が頻繁に起こっています。  
地球温暖化、そして私たちにできることをじっくり考えます。



**昔**  
CO<sub>2</sub>の排出が  
少なく暮らしを  
していました

もともと地球の大気中には、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)やメタンなどの「温室効果ガス」があります。温室効果ガスは、地球に届いた太陽の熱をつかまえ、地球を暖める働きがあり、生きものが快適に暮らせる温度を保っていました。  
ところが今、この温室効果が

地球の気温が  
上がっている



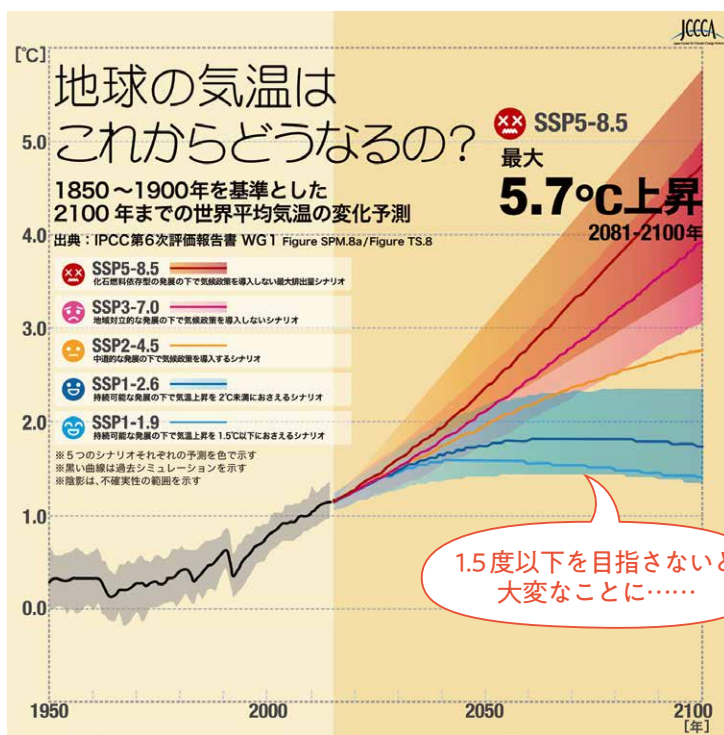
**今**  
CO<sub>2</sub>の排出が  
多く暮らしが  
なりました

スガ急激に増えています。石炭や石油、天然ガスといった化石燃料を使う量が増え、大気中に多くのCO<sub>2</sub>が放出されているからです。化石燃料を使って生み出されているのが、私たちの便利な暮らし。電気・ガス・ガソリンなどをを使い、快適な生活を手に入れた結果、温室効果ガスが増えすぎ、熱が地球に残ってしまい、気温が上がっています。これが地球温暖化です。

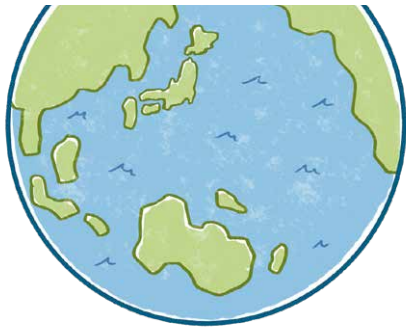
世界の平均気温は、1880年から2012年までに0.85度上昇しました。すでに日本をはじめ世界の各地で異常気象が発生し、これらは地球温暖化の

今すぐCO<sub>2</sub>の  
排出量を減らす  
ことが必要

影響と言われています。このままの生活を続けると、世界の平均気温は今世紀末に最大5.7度上昇するとされています。今すぐ対策を取らなければ、80年後の地球は大変なことになってしまいます。今すぐCO<sub>2</sub>の排出量を減らすこと、そのために化石燃料の使用量を減らし、エネルギーを持続可能なものに転換していくことが必要です。



出典：全国地球温暖化防止活動推進センター



# ストップ 地球温暖化を STOP!

夏の猛暑や記録的な豪雨、猛烈な台風による被害。  
その原因は、私たちの暮らしにあるのかも。今回は、

## もしこのまま気温が上がると.....

気温が**1.5度**上昇すると



「10年に一度の豪雨」の  
頻度が**1.5倍**に

気温が**2度**上昇すると



大多数の生態系は現在の状態を  
保てなくなり、**絶滅の危機**に

気温が**4度以上**上昇すると



世界中で野菜や果物が育ちにくく  
なり、**収穫量が大幅に減少**

IPCC 第6次評価報告書第1作業部会報告書 政策決定者向け要約 暫定訳 (文部科学省及び気象庁) スターン・レビュー Executive Summary をもとに作成

## 世界、そして 日本の目標

エスディージーズ  
SDGs 目標 13



13 気候変動に  
具体的な対策を

世界共通の目標である「SDGs(持続可能な開発目標)」では、「気候変動とその影響に立ち向かうために、緊急の対策をとること」を掲げています。人間が豊かなくらしを送ることでCO<sub>2</sub>の排出量が増え、異常気象などが発生し、私たちや生きもののくらし、そして地球の未来が脅かされています。世界のあらゆる人に、今すぐ行動を起こすことが求められています。

### パリ協定

2015年の「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)」で採択された「パリ協定」。世界共通の目標として、次のことを掲げています。

・世界の平均気温の上昇を、産業革命以前に比べて**2度未満**、できれば**1.5度以下**に抑える努力をする。

・そのために、世界の温室効果ガスの排出量と、森林などによる吸収量のバランスを取り、21世紀後半には**排出量を実質ゼロ(カーボンニュートラル)**にする。

### 日本の目標

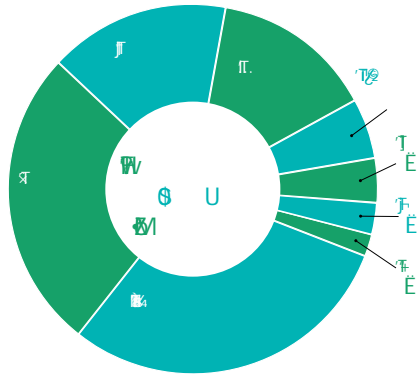
2020年10月、日本政府は「2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを」を宣言しました。これに向けて、2030年に46%削減(2013年度比)を目指すと表明しています。  
日本で、そして世界で、CO<sub>2</sub>の排出量を減らす動きがますます高まっています。

次のページでは、**コップデリの取り組み**を紹介します！









SDGs  
目標別  
解説  
R 解説

